

正誤表

『史泉』133号 ページ40 13行目

誤	正
費目	費目
『史泉』印刷費 (128号)	『史泉』印刷費 (129号、130・131合併号)

二〇二〇年度

史学・地理学会大会報告

二月五日(土) Zoom 利用のオンラインで、二〇二〇年度関西大学史学・地理学会大会が開催されました。大学院生・学部生が日頃の研究成果を発表しました。また、同時にポスター発表もオンラインで行いました。二組の大学院生・学部生が日頃の研究を、ポスター形式で発表しました。発表終了後に総会が開かれ、会計報告・編集委員会報告・事業報告がなされ、承認されました。

【口頭発表】

鉄道ネットワークの拡大による京阪神大都市圏の構造変容に関する研究

—— 鉄道会社間の直通運転に注目して ——

朱 子同

古墳時代中期における鉄鍬の副葬単位の形式組成について

—— 特に同一形式の個体差に着目して ——

池田 旭

【講演】 スイス観光業の戦中と戦後

—— 第二次世界大戦期スイスにおける「観光論」の展開 ——

森本 慶太

初期日本天台教団における動向

—— 義真と円澄について ——

貫田 瑛

日本におけるカレーの受容と多様化・新規参入の諸相

—— その文化地理学的考察 ——

鄭 梓鈺

大都市近郊地域の都市化から見る工業地域の変容

—— 中国重慶市九龍園工業団地を例として ——

劉 天星

【ポスター発表】

滋賀県湖東地区における生態と人間社会

井上朝日 大坪直人 奥田依吏子 尾上晃也

楠 和磨 小林加奈 酒井滉平 四至本翔

田仲息吹 寺田昂右 寺田優治 中村 聡

長尾剛周 新田慎也 前山みつぎ

矢野裕理佳 檀孝太郎 山岸諒大 朱 子同

徐 雨辰 鄭 梓玉 藤丸敏生 黒木貴一

土屋 純

明日香村所在中尾山古墳の範囲確認調査中間報告

北川咲子 田中詢弥 池田 旭 小木曾優佳

会員の発表論文目録

(二〇二〇年四月―二〇二〇年九月・前号までの欠落分)

日本史

田畑 豪 一

「吾妻鏡」生田の森・一の谷合戦記事の再検討、「歴史と神戸」三四〇号
(神戸史学会)、二〇二〇年六月

三好 順子

「百済王氏の移住―難波から交野へ―」、西本昌弘編「日本古代の儀礼と神祇・仏教」(塙書房)、二〇二〇年四月

山口 哲史

「四天王寺五重塔壁画に関する基礎的考察」、西本昌弘編「日本古代の儀礼と神祇・仏教」(塙書房)、二〇二〇年四月

東洋史

岡部 美沙子

「一七世紀狩野派の白澤図像」、「史泉」第一三三号(関西大学史学・地理学会)、二〇二〇年七月

松浦 章

「長崎来航唐船主による書法受容の一形態」、「東西学術研究所紀要 第五三輯(関西大学東西学術研究所)、二〇二〇年四月

書評「隋唐時代における外務官僚の世界」(石曉軍著『隋唐外務官僚の研究』鴻臚寺官僚・遣外使節を中心に)、『東方』第四七二号(東方書店、二〇二〇年六月)

「台湾総督府技師樞谷政鶴と台湾漁業への貢献」、『関西大学文学論集』第70巻 第一・二合併号(関西大学文学会)、二〇二〇年九月

森部 豊

(「東部ユーラシア論を考える」二〇一九年度夏期シンポジウム特集)「中国「中古史」研究と「東ユーラシア世界」」、『唐代史研究』第三三三号(唐代史研究会)、二〇二〇年八月

西洋史

嶋中博章

共著『フランスの歴史を知るための50章』中野隆生・加藤玄編著(明石書店)、二〇二〇年五月

共著『侠の歴史 西洋編 下』堀越宏二編著(清水書院)、二〇二〇年八月

森本慶太

新刊紹介「森田安一『ハイジ』が見たヨーロッパ」、『関西大学西洋史論叢』第二二二号(『関西大学西洋史論叢』編集部)、二〇二〇年三月

地理学・地域環境学

黒木貴一

黒木貴一・品川俊介「神社に着目した山地斜面の安全性と災害情報」、『第一〇回土砂災害に関するシンポジウム論文集』、二〇二〇年九月

西城潔・小岩直人・黒木貴一・藤本潔・楳原京子「地形でとらえる環境と暮らし」(古今書院)、第二章 台地編：失われてゆく平坦面で行われる多様な人間活動、(第四章 火山・地震編：変動帯ならではの地形と人の営み)、二〇二〇年七月

二〇二〇年九月

齋藤 鮎子

「ベトナム紅河デルタの専業村における家内工業の実態―ハナム省チエウ村のライスペーパーを事例に―」、『関西大学東西学術研究所紀要』第五三輯、二〇二〇年四月

鄭 梓鈺

(書評)「小林真樹著『日本の中のインド亜大陸食紀行』」、『史泉』第一三二二号(関西大学史学・地理学会)、二〇二〇年七月

劉 天星

(書評)「村松 伸・加藤浩徳・森宏一郎編著『メガシティとサステイナビリティ(メガシティ1)』」、『史泉』第一三二二号(関西大学史学・地理学会)、二〇二〇年七月

関西大学史学・地理学会 2019 年度（令和元年度）収支決算報告

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

	費 目	金 額	前年度比
収 入	前年度繰越	4,580,636	△93,168
	会費	410,000	188,500
	バックナンバー売上	10,500	△3,900
	寄付	0	△47,000
	抜刷代	3,080	3,080
	郵便代戻入	750	△900
	利息	3	1
	収 入 合 計 (除く繰越金)	5,004,969 424,333	
支 出	『史泉』印刷費(128号)	625,256	332,900
	史泉発送費	59,451	30,507
	『史泉』封筒代(角3号3,000部)	64,350	64,350
	史泉発送手数料	7,700	7,700
	学会封筒代(長3号)	0	0
	振込手数料	872	360
	大会費補助	4,539	4,539
	通信費	16,765	5,915
	謝金	33,640	5,640
	消耗品費	4,771	2,713
	日歴協会費(3年分)	0	△15,000
	慶弔費	0	0
	単年度支出	817,344	439,624
次年度への繰越	4,187,625	△393,011	
	支出合計	5,004,969	

2019 年度も収支決算は、上記の通り適正に行われたことを認めます。

2020 年 11 月 25 日 監査 西本昌弘
2020 年 11 月 25 日 監査 佐藤健太郎